

クラスだより



5月号



ひよこぐみ

5月のねらい

- ・一人ひとりに合った生活リズムで心地よく過ごす。
- ・安心できる保育者に見守られながら好きな玩具で遊ぶ。

<初めての保育園生活！>

保育園での生活が始まって1ヶ月。登園時などまだ泣いてしまうこともありますが、いつも部屋にいる保育者の顔を覚えてきて、目が合うとニコリ笑顔を見せてくれるようになりました。抱っこから降りてハイハイで移動したり、気に入った玩具を手に取り遊んだり、少しずつ新しい環境や大人に慣れてきた様子のこどもたちです。天気の良い日はテラスに出て外気に触れ、ゆったりと過ごしている毎日です。

ひよこ組では、一人ひとりに合った生活リズムで心地よく過ごすことを大切にしています。しっかり眠り、お腹も満たされることで機嫌よく過ごせるようになります。睡眠や食事のタイミングはこどもたちによってそれぞれ異なるので、ご家庭での様子と園での様子をしっかりと伝え合いながら一緒にこどもたちの成長を見守っていただければと思います。

5月24日にクラス保護者会の中で離乳食試食会を行います。離乳食を実際に食べていただき栄養士からの説明もあります。ぜひご参加ください。





りすぐみ



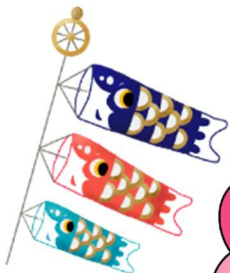
5月のねらい

- ・発見や驚きなど、探索を楽しむ。
- ・好きな遊びを見つけ、遊びこむ。

<見つけた!>

新しい環境で泣いてしまうこともありましたが、慣れてくると笑顔が見られるようになりました。戸外でも室内でもたくさん動いて、色々な玩具で楽しそうに遊んでいます。

晴れている日は戸外で遊び、探索や身体を動かすことを楽しんでいます。テラスに出るのが好きで、開けると“待ってました”というように出ていきます。飛行機が飛んでいるのが見えると大興奮です。園庭にお兄さん、お姉さんが見えると「おーい」と手を振り笑顔のこどもたち。お散歩に行く時には箱車から見えるもの1つひとつに指さしや手を振ったり、「あ!あ!」「にゃんにゃん」と声を出したり、嬉しそうに見ています。公園に着くと葉や花、石など拾うのが楽しく、保育者に“見てみて”というように見せてくれ、「〇〇があったね」と共感すると、にこっと笑ってくれ、もう1度探しに出發です。ありを追いかけることも楽しく、探すのに夢中です。こどもたちが何に興味を示しているのかしっかりと観るようにし、たくさん共感していきたいと思います。



うさぎぐみ

5月のねらい

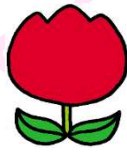
- ・砂遊びを存分に楽しむ。
- ・トイレで排泄することに慣れる。

<トイレでできた!>

うさぎ組になってあっという間に1か月が経ちました。4月当初はうさぎ組というよりはまだりす組りかな、と思っていたこどもたちでしたが、落ち着いてよく見てみると、少しずつですが変化と言うか、成長が見られます。そのひとつが排泄です。

うさぎ組の部屋の中にはトイレがあり、オムツを替える時に当たり前のように「トイレにいったらっしい」と声を掛けています。こどもたちは言われるがままトイレに座ってみる。タイミングが合うとおしっこが出る!自分ではびっくり、大人は褒めてくれるので、あっという間にほとんどの子がトイレで排尿できるようになりました。これには私たちもびっくり。こどもたちの中に「おにいさん(おねえさん)になった」という自信がわいてきました。

できるようになるきっかけは様々ですが、力は確かについてきています。失敗を恐れずに1歩ずつチャレンジできるよう、声を掛け、見守り、一緒に喜びたいと感じました。



ちゅうりっぷぐみ



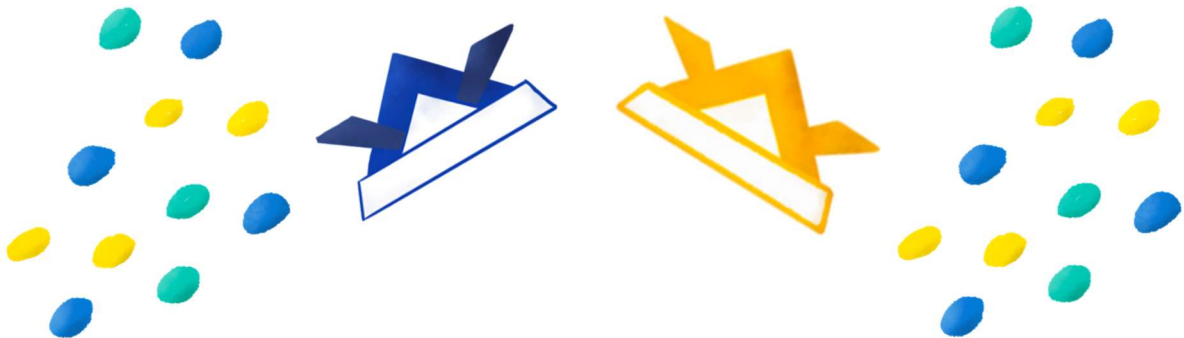
5月のねらい

- ・生活の仕方や流れが分かり、身の回りのことを自分でやってみようとする。
- ・散歩に行き、探索をしたり体を動かしたりして戸外あそびを楽しむ。

<ぼくたちわたしたち、ちゅうりっぷ組～！！>

進級、新入して1カ月が経ちました。少しずつ新しい環境にも慣れ、自分のロッカーの場所を覚え、給食ではタオルと椅子を持ってホールに行くなど、幼児クラスでの生活の流れを覚えてきて、こどもたちは張り切っています。また、お友だちとの関わりも増え、好きな遊びを見つけて楽しそうに遊ぶ姿が見られます。人気があるおもちゃはパズルと赤ちゃんの人形です。パズルは一段と難しくなり、時間をかけてじっくり行っています。一度完成させると、あっという間に覚えて2回目はもっと早く完成させてしまいます。時々「これどこかな？」など会話をしてお友だちに手伝ってもらい、助け合っている姿を見て微笑ましく思います。赤ちゃんの人形では哺乳瓶のおもちゃを使って遊んでいます。「ミルクの時間ですよ」と人形に声をかけて飲ませてあげる姿はまるで小さいお母さんみたいです。抱っここのしかたも優しいです。

帰りの支度も自分で行っています。おやつ後にタオルを自分のビニール袋に入れて、ビニール袋を保育者に渡して結んでもらい、リュックにしまえます。少しずつ、自分でやりたいという気持ちが強くなり、こどもたちは頑張っています。そんな姿を温かく見守っていきたいと思います。





さくらぐみ



5月のねらい

- ・季節の自然や食材への興味を深めながら、野菜の栽培に関心をもつ。
- ・保育者や友だちと一緒に集団遊びを楽しむ。

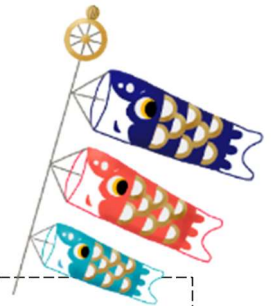
<さくらぐみになったよ！>

早いもので進級してから1ヶ月が経ちました。こどもたちなりに「おにいさんになった」「おねえさんになった」という実感をもっている子も多くみられます。保育の流れも変わり、朝の雑巾がけが始まり、リズム運動はもみじ組と合同になりました。中でも雑巾がけは、4月1日の朝からやる気に満ちていて、保育者が細かく教えなくてもどんどん進めようとする姿も。きっと前のさくら組が取り組んでいる姿を毎日見て、憧れの気持ちを抱いていたのでしょうね。

みんなでたくさんの「やってみたい！」に挑戦できる1年間にしていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします！



もみじぐみ



5月のねらい

- ・友だちと考えを出し合いながら、共有の目的をもって遊ぶ楽しさをあじわう。
- ・自分たちで、動植物の飼育をしながら関心を深め、親しみや愛情をもつ。

<雑巾がけ頑張るぞ！>

卒園したもみじ組に縫ってもらった新しい雑巾を使い、朝夕ホールの雑巾がけを始めて1ヶ月が経とうとしています。ついこの間、雑巾を見ながら「少し黒くなってきたね」と言い始めたので、卒園したもみじ組の雑巾を見せてあげると見比べ「うわー！こんなに真っ黒になるんだ！」と驚いていました。「毎日2回もホールを雑巾がけするとこんなになるんだね」と言うと、「もう少し頑張らないとね」と、雑巾が黒くなることを楽しみにしているようでした。最近では絞る力も強くなってきているので、仕上げ絞りなく雑巾がけをする子も出てきています。